



重点項目に対する取組		基本指針を受けた取組					
つけたい力を明確にした「言語活動」	自律心と責任感の育成を目指した「協働活動」	授業改善	理数教育の推進	豊かな感性・情操を育む教育の充実	LD等支援の必要な子どもの学力向上・教育相談の充実	小中一貫教育の推進	安全教育・健康教育・スポーツ活動の充実
言葉で捉え、言葉で考え、言葉で表現する力を全教育活動で意図的に培う ・記録・要約・説明・論述等の活動の各教科での充実 ・北醍醐モデルの作成 ・読書活動の充実 ・外国語活動の充実: SSとの連携指導による外国語活動の充実	学習規律の徹底 ・授業の始めと終わりの挨拶 ・学力向上チームの能動的実践・検証 ・あいさとと清掃と言葉使いを特化(児童会を巻き込む) ・「道徳的実践力の育成」をよりつよくした道徳教育の充実 ・たてわり活動の積極的推進	学校は学ぶ場であると捉え、一人一人のニーズに応じた質の高い授業を提供する。 ・一人授業公開による授業力アップ ・全年度複数指導体制の構築 ・習得と活用が両輪をなす授業の構築 ・外部講師を招聘した授業研究会を増加 ・相互研鑽し合う教職員の育成指導	学習の基礎基本といわれる知識技能の確実な習得を目指して、活動の多様化、操作活動の重視を図り、科学的視野を広げ、関心を高める ・算数科・理科にTT配置 ・算数科における指導形態の工夫。改善 ・ICT機器の活用	環境を守っていく実践的な態度を育てる ・エコライフ学習 ・緑のカーテン事業の発展 地域人材を活用した体験活動の重視 ・なかよし会 ・読み聞かせボランティアによる読書支援 ・グランドゴルフ練習会での地域指導者との連続した交流	子どもの抱える困りや、障害を正しく理解し、特性に基づいた適切な指導を進め ・個別の指導計画の作成 ・育成学級の弹力的活用 ・関係機関との連携の推進	9年間の学びを一貫として捉え、醍醐中プロックの中3校が、児童・生徒の学力向上、進路保障、社会人として自立する姿を共有して連携指導する。 ・授業交流 ・合同研修会 ・情報交換 ・児童・生徒の交流 ・中学校生活体験学習	主体的に生命を守り、健全な心身を培おうとする子を育てる ・関係機関と連携した避難訓練、防災訓練、自転車安全教室の実施 ・朝ランニングの毎日実施(4・5・6年生全員対象) ・食育の推進 ・全教員が分担する部活動指導